



⇒E-mail fureainpo@gmail.com

⇒ホームページ

<http://www.fureai-support.jp/>



10・11月号
平成30年10月1日

- 法 人 事 務 所 ・ ア ト リ エ TEL 0244 (36) 5420
〒976-0042 相馬市中村字北町1-8 FAX 0244 (26) 5424
- デイサービス友遊(北 町) TEL 0244 (26) 5424
- デイサービス友遊(南飯淵) TEL 0244 (36) 3582
- 中央児童センター(ポニー・ことり) TEL 0244 (35) 2008
- 飯豊小放課後児童クラブ(ひまわり) TEL 0244 (37) 8870
- 日立木小放課後児童クラブ(めだか) TEL 0244 (35) 3400
- 磯部小放課後児童クラブ(げんき) TEL 0244 (32) 1787
- 八幡小放課後児童クラブ(なのはな) TEL 0244 (26) 9011
- 相馬こどものみんなの家 TEL 0244 (35) 4700

今夏は猛暑日が続いたと思ったら異常気象で大雨、台風、地震と続き各地で大変な被害がでました。お見舞い申し上げます。

季節は変わり、稲の穂はこうべを垂れ、ススキの穂も風に揺らぐ様を目にして、秋の訪れを感じますこの頃。

かがぞうけいきょうしつでは、1学期に「色粘土入りのお皿」を作りました。相馬駒焼きふうのひびが入ったお皿が焼きあがりました。友遊寮を開寮してから23年になりますが、年々、焼き上がりに、ワクワクする回数が増えました。

芸術の秋、多くの皆さんに、炎の芸術も楽しんでいただけたらと思います。

陶芸の楽しさを、幼稚園・保育園・親子会・学年行事・そしてデイサービスなどで、出前講座でお伝えしております。

陶芸に興味のある方、やってみたい方、いつでもお声かけください。2学期はマイカップ作りをしました。



陶芸教室—マイカップ作り



ザリガニ



葉けいとう



中学生作品



水墨画教室



物作り教室

8・9月のかがぞうけいきょうしつでは…

未就学児：ザリガニをかこう

ザリガニは学年問わず、毎年良い教材になっておりますが、年々数が減り、ザリガニとりの体験などはできなくなって残念です。今回は浩之先生に5匹のザリガニをとってきてもらいました。

小学生：ザリガニ・葉鶏頭・ぶどう・ゴーヤ・かぼちゃ

費先生の水墨画風描きかたで倉本先生栽培の果物、野菜、花を描きました。描いた後は美味しくいただきました。ごちそうさま・・・ザリガニは生かしてあります。

中学生：ペン画・油絵制作

短いスパンで仕上げるのではなく、計画を立て逆算して制作・完成させる。5枚から6枚セットで意欲的に制作しており、小学生に良い刺激になっております。

陶芸教室：マイカップ作り

信楽焼きの白粘土でマイカップを作りました。只今乾燥中！！湯呑み茶碗やミルクカップ、花びんに・・・何に使いたいですか。焼き上がり楽しみです。

10・11月の活動予定 & 事務連絡

◎10月 芸術の秋本番、各コースオリジナル作品作り

◎11月 6年生は卒業制作(自画像)に入ります。

◎11月23日 目薬の木・紅葉祭り(詳しくは後日お知らせ)

◎10月のご請求 月会費に加えて
暖房協力金 2000円(11月～3月)

◎11月のご請求 月会費に加えて
展覧会費 2000円

※9月のご請求3000円はアルバム代でした。

陶芸教室を終えて・・・

デザインはシンプルだけど、自分的にはけっこうまくできた。やけるのが楽しみです。早く使いたいです。(5年 相良泰生)

デイサービス友遊の開所から6年が経過して・・・

2011年3月11日金曜日2時46分、アトリエで絵画教室の真最中、東日本大震災発生。

そしてまもなく原発事故で放射能の漏洩。人々の生活を根底から破壊し、安心という言葉を奪い去ったあの震災は、被災したどなたにも大なり小なりの傷が残った暗い時間だったのではないのでしょうか。私共も念願だったデイサービスの開所どころか、ごくありふれた日常を取り戻すことの大変さを痛感していた時間。そんな時期に国家試験の社会福祉士の合格証が正子に届いた。これを後押しに長年温めていた、子どもと高齢者の交流施設の計画を再開。多くの皆さんのお力をいただきながら実現にむけ走りました。忘れられません。

おかげさまで、デイサービス友遊も開所してから6年3ヶ月が経過しました。おじいちゃん・おばあちゃんは、子ども達のパワーを吸収し笑顔が甦る。そして、子ども達は交流を通して思いやりのある優しい心が育まれ、それを自然な形で体現。子ども達の望ましい育ちにはなくてはならない大きな存在です。アトリエは、更により環境が生まれ嬉しい限りです。

少子高齢社会・核家族の多い今日。子育て・介護問題と家族が抱える問題は深刻になってきています。ますます憩いと安らぎの空間を創造する責務を感じ、アトリエの果たすべき役割をこれからも担っていきたく思います。



9月17日は敬老の日でした。おじいちゃん・おばあちゃん「いつもありがとうございます。どうぞ、長生きしてください。」